# 高校生「外科手術体験セミナー」in 八戸

2014.7.19
八戸市立市民病院　講堂

八戸での開催は5年ぶりになります。
袴田教授・漆舘教授・澤副院長の挨拶でセミナーは始まりました。

参加高校生のみなさんの表情はやや硬め、緊張気味にみえます。

続いてスタッフの自己紹介です。医師・研修医50名、医学生、協力企業のスタッフを含めると総勢70名を超える参加となりました。

キャップ、マスクを着けて、ガウンを纏えば....

「かっこいい外科医」に変身完了。総勢56名です。

今回も7つのコーナーを用意しました。

## 手術室体験 コーナー

手術室体験コーナーではリアルさを追求。

使用する器具の名前・用途を覚えて、いざ手術に臨みます。

このコーナーでのtaskは“肝腫瘍の切除”です。
豚のレバーに支持糸をかけて糸結びをした後、電気メスにて肝切除をしてもらいました。

# 腹腔鏡手術トレーニング コーナー

直視下タイプと鏡視下タイプの2種類のトレーニングボックスを用意しました。

「右手と左手」の意味がわかったでしょうか？それぞれに役割があります。

その後ろ姿からも一所懸命さが伝わってきます。

# 超音波メス コーナー

超音波凝固切開装置とベッセルシーリングシステムを用意しました。
いずれの装置も私たちが実際の手術で使用している物です。

超音波凝固切開装置では鶏肉を、ベッセルシーリグシステムでは油揚げを切離してもらいました。油揚げを手術器具で切ったのは、私たち医師も初めての経験です。

今セミナーでの一番人気スタッフは横山先生でした。
横山先生、楽しくわかりやすいご指導、ありがとうございました。

# 手術シミュレーター コーナー

高額な手術シミュレーターを3台用意しました。毎回、人気のコーナーです。

術者と助手、役割を分担をして手術を進めます。

みなさん真剣な表情で取り組んでいました。その表情と姿勢？からは手術の大変さが良く伝わってきます。お疲れ様でした。

# マイクロサージャリー コーナー

医療顕微鏡を使用してのマイクロサージャリー体験コーナーです。

実物の医療顕微鏡を使用して、血管吻合の模擬手術を体験しました。

漆舘教授をはじめとする形成外科チームの先生から、
マンツーマンでご指導いただきました。

# スーチャリング コーナー
# 腹壁縫合

腹壁モデルを使っての腹壁縫合・閉腹手技体験です。

手術の基本中の基本、糸結びの練習後、手術器具の説明を受けていざ本番です。

2人で1チームになり腹壁を縫合・閉鎖、閉腹手術を完了しました。

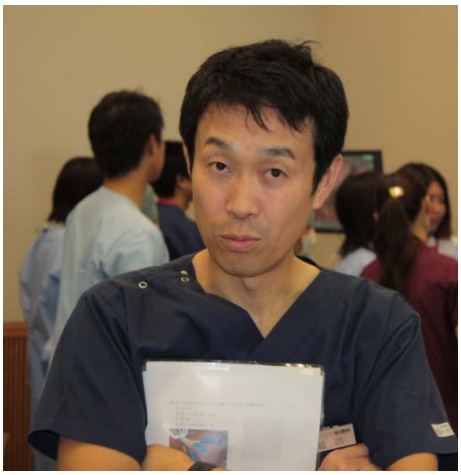
# 自動縫合器 コーナー
# 腸管吻合

腸管に見立てたスポンジを使っての縫合手技体験です。
今回も手縫いと自動縫合器の2つの手技を用意しました。

手縫いコーナーでは、毎回のことですがみなさんの器用さに驚かされます。

自動縫合器を使用する祭には恒例の『ファイヤー』のかけ声が挙がり、
大いに盛り上がりました。

休憩時間を利用してのミニレクチャーの様子です。八戸市民病院 鳩山先生から
外科医の仕事について、研修医の生活について、ご講演をいただきました。



今回も大勢のスタッフのみなさんにご協力をいただきました。
ありがとうございました。

セミナー開始当初は硬かった表情も、時間と共に余裕が出てきたようです。

閉会式では袴田教授、漆舘教授から、写真入りの修了証書が一人ずつ手渡しされました。

握手のご利益があるといいですね。

最後はやはり工藤先生です。『ファイヤー』のかけ声でセミナー修了となりました。
私たちスタッフも、一緒に、楽しい時間を過ごさせてもらいました。